

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	旧鉄工事業所建物解体現場における液化アンモニア漏洩事案。
3. 体験した事例の中心的要素	漏洩ボンベの品名等の判定のため接近するも、ボンベ本体が老朽発錆により判定困難であったため、警戒区域設定等防ぎょ対応に苦慮し、隊員及び付近住民の負傷さらにはボンベの爆発有無が疑われた。
4. 体験した事例の原因・理由	請負業者による廃屋建物解体中、放置されていた液化アンモニアボンベ（50kg）1本のバルブを作業機械により損傷したため気化したアンモニアが周囲に漏洩、作業員はこのボンベの存在について事前把握してなく、またボンベ本体色が確認できない程著しく発錆し、噴出ガス種別の特定に困難を要した。

【体験した事例の直接的原因について】

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。
------------------	--------------

【体験した事例について】

.....

1. 発生日時	平成 19 年 7 月 2 日 午前 11 時頃
2. 発生した当時の天候	雨
3. 発生した活動現場	屋外：建物解体現場
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	有害物と接触、爆発・破裂、火傷・熱傷、
7. 事例体験時の活動	その他： []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	その他：異臭による警戒
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[40]歳、勤続年数[20]年、現場経験年数[20] 年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [車長]
○当事者 B	年齢[56]歳、勤続年数[35]年、現場経験年数[35]年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [機関員]
○当事者 C	年齢[20]歳、勤続年数[1]年、現場経験年数[1]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

.....

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 A	現場付近到着後、関係者と接触、50 kgボンベから刺激臭ガス噴出確認。	
経過 2	//	応援隊要請及び付近住民への警戒広報実施。	
経過 3	//	漏洩ガスはアンモニアと判明、当事者 B、C 及び後着隊に希釈注水指示。	
経過 4	//	完全放出・拡散し、隊員及び付近住民の安全確認実施。	
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 **: 事故が起きたのはどうしてだと思うか？**

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

集中力、注意力があった。周囲の視界が確保できていた。指揮者が適切に指示した。後方からの監視の目が行き届いていた。他隊(員)との連携活動がうまくいった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：早期に噴出ガス種別が断定できなかった。

ヒヤリハット発生状況図

